

住みよい小山をつくる会 第6回企画会議 議事概要

日時：平成18年6月19日（月） 午後7時～9時30分

会場：小山公民館 中会議室

1 第3回全体会の議題、進め方について

(1) 安全・安心事業の調査結果

調査報告結果

- ・調査は、安全・安心まちづくり協議会小山支部に支出される補助金17万円の使い途の参考とするためと、事業の時期、内容などで連携できるものはないか探るために行った。
- ・自治会、子ども会、青少年健全育成連絡協議会、交通安全協会、向陽小学校とPTAが事業に取り組んでいる。内容は防犯パトロールのほか、啓発活動、講習会などがある。

安全・安心まちづくり推進協議会小山支部設立総会議案

- ・設立日は未定。次回の全体会で設立総会をもち、設立日としたい。

小山支部の予算案、設立について、以下を決定した。

- ・調査報告の事業内容をもう少し細かく調べて、物品購入を中心とした予算案を事務局で提示する。
- ・各自治会、子ども会の事業のうち、物品購入を中心に予算を補助する。
- ・小山支部の設立は、次の第3回全体会で承認を受けた日とする。

(2) 安全・安心まちづくり推進協議会小山支部の規程

* 当初の議案にはなかったが、小山支部の会員を定めた規程に対し、疑問が出され、会員規程と関連事項について議論された。

- ・一度でも全体会に出席すれば、小山支部の会員に誰でもなれるという規程はおかしくないか。全体会と支部の会員が同じということだと、支部の会員がどんどん増えていくことになる。また、地域団体の代表と個人の住民が同じ会員ということもおかしい。
- ・全体会の会員はどのようにしてなるのか。
(事務局) 住みよい小山をつくる会に出席した方にアンケートを行い、回答した方の名簿を作成して整理している。第2回全体会で決めた会則のとおり、会員は地域に在住、在勤、在学、在活動する者となるので、その要件に合う人が会に参加すれば会員ということになる。
- ・アンケート記入が入会申込みではないのではないのか。規約に会員は趣旨に賛同とある。賛同を確認したのか。
- ・この会は団体の集まりか、個人の集まりなのか、はっきりさせないといけない。個人の集まりとしたときに、団体代表と個人が同じ1人1票でいいのかも問題がある。
- ・もしこの会を団体で構成することにするのであれば、個人参加の方も含めた前回の全体会で住みよい小山をつくる会の会則などを決めているので、もう一度全体会で諮る必要がある。
- ・市の支部をつくるのだから、一般住民を会員とするのはおかしい。
- ・小山支部の会員を団体だけとすると、規程の改正案を次の全体会に提案することになる。また、住みよい小山をつくる会は小山支部を兼ねることにしているの、2つの組織を切り離すことになる。
- ・小山支部は行政の下部組織なので団代表で構成し、住みよい小山をつくる会は地域住民で構成すると分ければいい。
- ・住みよい小山をつくる会は地域住民で構成し、住民の声を聞く窓口にする。
- ・全体会では、住みよい小山をつくる会と小山支部が実質的に同じ組織として役員を同じにすることを承認している。別組織にしたときに、役員が同じで問題はないのか。

次の企画会議で、小山支部の会員規程の改正について再度検討する。

(3) 宮下地区の廃プラスチック中間処理施設

この会の発足当初から、基地問題がテーマの候補として挙げられていたが、第2回全体会で今後議論していきたいテーマとして、廃プラスチック中間処理施設の問題が提案され、この問題を住みよい小山をつくる会としてどのように取り上げるか検討した。

<主な意見>

- ・われわれには廃プラ施設がいいのかどうかの科学的な根拠など分からない。これに取り組むとなると、1年、2年やっても解決案が出せない。専門家や市や県に任せる話だ。本気で取り組むと、これ以外のテーマに取り組めなくなる。
- ・基準を超えていないのだから、地元の宮下の住民としても承認したい。小山みどりの会でやることは自由だ。
- ・市内の2か所の焼却施設のほうが黒い煙を出していて、問題があるような気がする。廃プラを圧縮するぐらいで問題があるのか。
- ・議会レベルで取り上げるテーマで、住民レベルで取り上げるテーマではない。
- ・これまでの公害問題の歴史を見ると、住民が問題を提起していくことが大切。この問題も地域の課題として大事に扱わないといけない。学習して話し合っていくことが必要ではないか。住みよい小山をつくる会として取り上げることもあり得るのではないか。
- ・特定の1つの団体の活動を取り上げることに反対。住みよい小山をつくる会のテーマは住民全体の合意ができたものにした。また、自治会連合会としても廃プラの問題には距離を置くことにしている。

企画会議としては、住みよい小山をつくる会では廃プラの問題ではなく、基地の跡地利用の問題を取り上げたいと提案する。

(4) 基地の跡地利用

次回企画会議に持ち越すこととする。

2 チラシの作成について

第3回全体会で案を提示する。

3 今後の日程について

第7回企画会議を7月10日(月)午後7時から、小山公民館中会議室にて開催する。第3回全体会の日程は、第7回企画会議で決める。